

会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称 平成29年度第1回水戸市立博物館協議会
- 2 開催日時 平成29年6月6日（火） 午前10時30分から12時まで
- 3 開催場所 水戸市総合教育研究所 研究室7
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委員 和田 雅彦, 河原 将子, 和田 祐之介, 岡田 貴子, 桐原 幸一, 小塚 のり子, 小菅 次男, 笹目 礼子, 鈴木 暎一, 玉川 里子, 塚原 正彦, 藤 和博, 藤本 陽子, 吉川 明宏, 高倉 富士男
 - (2) 執行機関 白石 嘉亮, 坂本 京子, 黒須 雅継, 中村 有紀子, 藤井 達也
 - (3) その他
- 5 議題及び公開・非公開の別
 - (1) 報告事項
 - ・企画展 県立歴史館ギャラリー展示「水戸城下のひな祭り」—うららかな春の陽ざしの中で—の結果報告について
街なか協働企画「大人のためのちょっとオシャレなひな祭り」の結果報告について（公開）
 - ・平成28年度博物館資料の貸出等について（公開）
 - (2) 協議事項
 - ・共催展「茨城鉄道Ⅰ」—今も思い出の中を走ってる—の開催について（公開）
 - (3) その他
 - ・博物館耐震及び設備改修工事の進捗状況について（公開）
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の数（公開した場合に限る。） 0人
- 8 会議資料の名称 平成29年度第1回水戸市立博物館協議会

9 発言の内容

執行機関 定刻となりましたので、ただ今より平成29年度第1回水戸市立博物館協議会を開催いたします。まず、始めに___委員長より御挨拶をいただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

___委員長 （挨拶）

執行機関 ありがとうございます。次に、4月1日付で人事異動がございましたので、博物館の職員を紹介させていただきます。

(順次紹介)

続きまして、本日の協議会における委員の出欠状況でございます。____委員から少し遅れるとの連絡をいただいておりますが、現在14名の委員が出席されており、水戸市博物館条例第8条第2項の規定に定める定足数、2分の1以上の出席を満たしておりますので、本日の協議会は成立しておりますことを御報告申し上げます。

また、議事録を作成する都合上、発言を録音させていただいておりますことを、あわせてお伝えいたします。

なお、本日の傍聴人はいらっしゃいません。

それでは議事に入りますが、条例第8条第1項で委員長は会議の議長となる、と規定されておりますので、議事の進行につきまして、____委員長にお願いいたします。

また、本日の議事録について、委員長より2名の署名人を選出いただき、議事に入っていただきたいと思っております。それではよろしくをお願いいたします。

(____委員到着)

____委員長 署名人は名簿順に、____委員と____委員にお願いしたいと思っております。よろしく申し上げます。

それでは、議事を進めます。始めに、報告事項の県立歴史館ギャラリー展示「水戸城下のひな祭り」について事務局から説明をお願いします。

執行機関 (資料に基づき説明)

____委員長 博物館で展示ができない状態ですので、歴史館にも協力していただきましたが、このような状態でなくても、日頃からいろいろな所と連携することは大事ですので、今後ともこういった企画を広げていただければと思います。

今の説明について、お気づきの点やお話ししたい事等ありましたらお願いします。

特にないようでしたら、次の議題に進みます。博物館資料の貸出等について事務局から説明をお願いします。

執行機関 (資料に基づき説明)

____委員長 特に御意見がなければ、協議事項の「茨城鉄道Ⅰ」—今も思い出の中を走って—について事務局から説明をお願いします。

執行機関 (資料に基づき説明)

____委員 かつて水浜電車の展示がありましたが、今度は上水戸から茨城鉄道に繋がったこととなります。すべての駅舎の写真が揃ったということで、大変な御苦労だったと思います。

____委員 次に説明がされると思いますが、博物館での展示が今年度行われたいのは、耐震工事によるものでしょうか。

執行機関 今の予定では8月に工事が終わり、その後に引越し作業、2月にくん蒸という消毒作業、3月に常設展の展示替えを行いますので、博物館での展示は4月とい

うことになります。お待ちいただければと思います。

___委員 路線跡を車でたどったことがあります。阿波山の先あたりや、御前山に近いほどわからないところがいくつかありました。新しい道ができたり、開発が進んでしまうと、わからなくなってしまいます。城里町の仕事にはなるかとは思いますが、昔の路線図の表示等があると、皆さん懐かしく感じられるのではないのでしょうか。

___委員 藪の中をたどるような状態でしょうから、今のうちに確認しておかないとわからなくなってしまいます。かつては赤塚から茨城大学前周辺一帯が畑だったことから、大学にあった図書館の時計台がよく見えました。

___委員 全長何キロメートルくらいあったのですか。

執行機関 赤塚から御前山まで、およそ 25 キロメートルになります。

___委員 副題の思い出の中を走ってるというのは、誰をターゲットにしているのでしょうか。思い出を語れる年代は 50 代以上であり、限定的な展示になりかねませんので、例えば小・中学生への説明の仕方等、工夫も必要ではないのでしょうか。

執行機関 城里町の町長さんからは、子どもたちにも茨城鉄道があったことを伝えてほしいと言われていいますので、なかなか難しいですが、思い出をベースにクイズ等を考えています。

___委員 すでになくなってしまっていて、思い出の中にしかないものになっているので、思い出という表現に問題はないと思います。

___委員 個人の思い出ということではなく、地域の思い出というとらえ方であればよいと思います。

___委員 茨城鉄道のいろいろな思い出を水戸に限定せず、城里の住民の方からも集めていて、住民が主役の資料の収集になっていますので、ある意味エコミュージアム、博物館における住民参加の 1 つの事業モデルになっていると感じます。

住民の皆さんが参加したテキストのように、これだけきちんとしたコンテンツと実際の映像があるということは、おそらく子どもたちも興味を持つであろうと思います。まして、自分の身近な人たちのコメントが載っていますので、本来はこういうものこそが、学校の副読本にするべき情報なのであるかと感じます。

映像の活用により、城里を含め沿線に住む子どもたちは、昔こうだったんだということで興味を持つはずです。今の日本の教育の中にあまりないコンテンツですので、画期的なものだと思います。学校利用のために漢字にルビを振って読みやすくし、一部を抜粋したものを用意するだけでも、十分地元コミットメントする展覧会になると思います。

今、観光庁では学芸活動、文化的で、地域を巻き込んだ試みを探していますので、1 つのモデルケースになるのではないかと思います。

___委員 住民との間の心の通い合いというものが生まれる展覧会になれば、大成功ではないのでしょうか。

___委員 自分は利用したことはないのですが、出身が栃木県茂木町でして、茂木駅から数十メートル線路は敷設されているのですが、物心ついた頃には草に隠れているような状態で、父からは本当は水戸まで繋がる予定だったが、戦争でできなかつ

たと小さい頃から聞かされました。その頃から真岡線は廃止の候補にあがっていて、水戸まで繋がってればそんな騒ぎはしなくて済んだかもしれないという話にはよく聞いていました。御前山まで来ていたのであれば、茂木のあたりでも利用していた方はいるのではないかと思いますし、興味のある方もいらっしゃるでしょうから、広報を検討してはどうでしょうか。

____委員 茨城鉄道は結局、いろいろな条件により、御前山で終わってしまっていますが、最初の予定では、野口の方まで行って、多分、茂木の方に繋がる予定だったと思います。水戸の方も赤塚駅が起点となっていますが、始めは水戸駅の方まで繋がる予定で始まりましたが、水戸駅周辺の反対があって、赤塚になったという話があります。おそらく当時、先の方は乗り合いバスかなにかで繋がっていたはずだと思います。

____委員 創立 30 周年の記念乗車券等、もの資料の収集はどのような状況でしょうか。あまり残っていないのでしょうか。

執行機関 最後の記念乗車券は結構残っています。個人の思いも非常に強かったのかと思います。

____委員 水浜電車の展覧会の際に集めた茨城鉄道の資料もありますが、第 I 期は写真展示のみとなっています。

____委員 日立電鉄が廃止になった時にも日立市郷土博物館で展示がありましたが、廃止から時間が経つと、もの資料は散逸してしまいますので、非常に貴重だと思います。

今は逆に街なかを走る JR とは違う電車、近くでいえばひたちなか海浜鉄道が、廃止を免れてがんばっているというの也有りますので、県内で小さくてもがんばっているところ等をからめて紹介すれば、記憶に残すことと身近で似たような例があることを知らしめる、路面電車は環境問題とからんで見直されているところもありますので、そういった点で今回の展示は面白いと思います。

____委員 日立電鉄で大甕から常陸太田までが廃止される時猛反対されましたが、結局、経営の判断で廃止されてしまいました。常陸太田から利用されていた方は、水戸駅まで来てから電車で北上するか、日立電鉄のバスを利用することになり、生活が変わってしまいます。記録でとっておいてもらえれば、活躍していた時代がいつまでも残ると思います。

____委員 赤塚から 2 駅目の金比羅前というところに、昭和 45 年頃に住んでいたので、1 年間ぐらいですが茨城鉄道に乗ったことがあります。今は常陸太田に住んでいますので、日立電鉄の廃線を目の当たりにし、日立電鉄は茨城鉄道に比べれば時間が経っていませんので、今はまだ廃線跡をたどれるところも結構あると思いますが、これから先に活かすために、歴史の中でのいろいろな意味合いを持っていたという、いろいろな問かけ方が展示の中でできると思います。

____委員 懐かしがるだけでなく、地域創生というか、地域を元気にするためにはどうしたらよいかという、一つの手立てとして活用できるのではないかということですね。

____委員 ちょうど今年度から、石塚と赤塚を結ぶ路線バスが日に 6 便復活しました。公

公共交通がなくなって空白だったところはどうしても不便ですので、昔の電車の思い出ということですが、今の人にとっても公共交通のあり方や大切さを学んだり感じる機会になるのではないのでしょうか。そういう意味では若い方にも見ていただくことは大事だと思います。

___委員 マリンバの演奏予定はないのですか。

執行機関 今回は予定しておりません。

___委員長 盛況のうちに終われるように願っています。次に、その他の工事の進捗状況について事務局から説明をお願いします。

執行機関 (資料に基づき説明)

___委員長 委員の方からなにかございますか。

___委員 弘道館、偕楽園、彰考館跡、大日本史、日新塾跡が日本遺産に認定されました。将来の復元を見越したものかもしれませんが、平成16年3月に老朽化が激しかったことから壊されて以来、日新塾跡には何もありません。世界遺産登録を目指すことも考えますと、日新塾跡は重要な施設であると思います。水戸には青藍舎、南街塾、菁莪塾等の私塾がたくさんありましたが、ほとんど残されていないと同時に、情報がないとよくわかりませんので、博物館で日新塾跡の展示を企画してはどうでしょうか。

日新塾で使用されていた教科書や蔵書1,824冊が歴史館に寄贈されて保管されていると聞いています。日新塾や水戸の私塾にスポットを当てて博物館でとりあげることで、将来的には日新塾の復元につなげれば良いと考えます。加倉井砂山や塾生だった川崎八右衛門の子孫の方が役員をされている財団もありますので、今のうちにやっておかないとわからなくなってしまうようなことを、市民の方にお知らせすることも重要なことだと思います。

___委員 かつて『水戸市史』の編纂の際、主幹の伊東多三郎先生から城下の私塾だけでなく、農村の私塾、なかんずく日新塾のことを調べるよう御指示があり、勉強してその項目を執筆しました。その頃は、まだ現地に加倉井家の廃屋が残っていて、藩主斉昭が来てお泊りになったというお成りの間、一段高くなった部屋がありましたが、畳がボロボロで、下から筍が顔を出しているような状態でした。後ろに大きな射的場の土塁も残ってしまっていて、まだ往時の面影が残っていたため、県と市に保存を訴えに行きましたが、空しく時は過ぎ、とうとう廃屋は倒壊してしまいました。日新塾が壊れていく過程を、茨城新聞のカメラマンが克明に撮り続け、銀杏坂のギャラリーに展示しましたので写真はあると思います。

倒れてしまった建物の一つから、柱に打ちつけてあった文化年間だったかの墨書の棟札が発見され、それは博物館にあります。最盛期には100人くらいが学び、おそらく北関東随一の私塾でした。水戸藩だけでなく全国の城下町には私塾や寺子屋、農村には寺子屋がたくさんありました。水戸でも勉強をする学問塾が、1800年頃に上町と下町に40くらいありました。水泳や剣術の武芸塾は140くらいあり、だいたい子どもたちは6、7歳になると、1つの学問塾と2つの武芸塾に通うのが普通だったようです。日新塾は郊外の成沢村にありましたが、藤田東湖は小四郎を自分の私塾ではなく、日新塾に入門させて勉強させています。

日新塾の特徴は、新しい時代に即応した教育で、砂山の晩年にはオランダ語を勉強する等、成沢の地でよくもこれだけのことをしたものだと思います。今ではあまり知られていませんが、当時としては大変有名な塾で、広島や会津等、全国から門人が来ており、私の先祖も門人でした。砂山は医者ではありませんが、医学書をたくさん蔵書として持っていたため、私の先祖は砂山のところで医学の基礎的な勉強をして、その後京都で実務を学んだと聞いています。私の先祖は宍戸ですので、おそらく砂山の名前を聞いて入門したのだと思います。そういう意味では、水戸だけでなくこの地方の学問や文化の発展に寄与したわけです。

現地には塾の歴史や代表的な門人を展示した看板や、パンフレット等がおかれた四阿が建ち、近くには砂山のお墓があります。砂山の子孫と一族の方が日新塾精神顕揚会という団体をつくり、今でも活動しています。砂山の娘婿であった川崎八右衛門は、常陽銀行の前身でもある川崎銀行をつくり活動した実業家でした。今のうちに日新塾について展示するというのも、有意義なことだろうと思います。

___委員 日新塾と十万原は水戸郷土かるたの札にありますので、子どもたちは覚えています。行って見て何もないと寂しいのではないのでしょうか。

___委員 砂山を先頭に門人たちが列をつくって、十万原まで軍事訓練に行っています。その際、農作業をしていた人たちから声がかかるほど慕われていたという言い伝えがあります。

___委員 森林公園に砂山の銅像がありますが、場所は森林公園でいいのかどうかという問題もあります。

十万原は今、大規模な住宅開発が行われ、半分が住宅、残り半分がソーラーパネルになっていて、かつてどのような場所であったか、子どもたちは知らないと思います。自然帯の調査にかかわっていたのですが、オオタカやゲンジボタル等がいて、十万原という原野にもなにかしらの意味はあったと思いますが、今は空き地があるとソーラーパネルが設置されてしまいます。地球温暖化の問題もあるのですが、少し残念な気がします。十万原が水戸市であり、そういう場所があったということを皆さんにわかってもらえたらよいと思います。

___委員 水戸黄門生誕の地も、隣にかつて茨城交通のバスの発着場があつて、茨城交通の所有地でしたが、民間に売ってしまったのでマンションが建ち、生誕の地が日陰になってしまいました。

___委員 日新塾については、博物館や歴史館等にまだ資料が残っていますので、市民に周知していただき、財団法人も普及、復元できたらよいとの考えを持っていますので、呼び水にしたらよいのではないのでしょうか。

ところで、博物館の地下駐車場は狭いので、利便性がよくありません。近くの土地を駐車場として借りることはできないのでしょうか。そうすれば利用する方が増えるのではないのでしょうか。

___委員 両親が城北の人間だったので、茨城鉄道には乗った記憶があり、坂道を押した話等も聞いています。

___委員 20代の頃に講師として飯富中学校に勤務していた時には、まだ日新塾の建物

は残っていましたが、竹が建物を突き破って生えているような状態でした。次に勤務したときにはなくなっていたのですが、___委員の言われたとおり、顕揚会の方々は蔵書等を歴史館に寄贈してくださったり、新しいパンフレットを作成される等、熱心に、関心高く活動されたりしていますので、うまく連携していけたらよいと思います。川崎家、日新塾、加倉井家の3系統の資料をお預かりしておりますので、展示をすることが復元への後押しになったり、市民の意識を高めたりすることに繋がるといいますので、資料もあり、人もいるということはいちチャンスかなと思います。

___委員 茨城町にあった川崎家の建物も道路改修ですっかりなくなってしまい、昔、涸沼で釣りをするために舟を借りた思い出がありますが、今となってはどこにあったか、場所が分からなくなってしまいました。

___委員 今も川崎八右衛門の顕彰碑は残っています。

___委員 水戸は文教都市を標榜していますので、早くしないとますます分からなくなってしまいます。

___委員 日新塾ももちろん含めてですが、日本遺産自体もまだまだ市民に知られていないように思います。世界遺産にも取り組んでいますので、スペース的にもとても大変だと思いますが、博物館の一角に日本遺産や世界遺産を紹介するコーナーがあったらよいのではないのでしょうか。情報を発信していただけたらと思います。

___委員 本来の日本遺産とは、ストーリーを重視して価値を創っていくということですので、___委員の言われるとおり、文化的なことと、それを広めるためのコンテンツを作ることにお金を使い、人を充てていかなければなりません。それが商工観光のイベントになってしまっているのは、あきらかにおかしいことですので、日本遺産になったらいいのではなく、なってから継続して価値を創っていかなければなりません。

___委員 きちんとした仕事をして実績を上げていくためには、それなりの人の手当てが必要だと思います。

___委員 城里町に行った場合、第1会場、第2会場となっていて、どのような違いがあるのでしょうか。最終的な展示については検討中だと思いますが、両方見ないと理解できないのでしょうか。それとも趣旨で分けた展示なるのでしょうか。

執行機関 多少オーバーラップする部分もありますが、ホロルの湯は利用者の8割が水戸市民と聞いていますので、会場を設定した経緯があります。城里町役場の利用者は城里町民の割合が多いと思いますので、若干にはなりますが、城里町の展示を中心に考えています。どちらが主で、どちらが従ということではなく、歩いて移動するには難しい距離ですが、どちらも見ていただけるように考えたいと思います。

博物館の第Ⅱ期では、ケースがなく展示できなかった切符や駅員の制服等の展示を考えておりますので、第Ⅰ期と第Ⅱ期も多少のカラーの違いを出したいと思っています。

___委員 千波湖の大きさの変遷について、以前、生物の展示の記憶がありますが、市街地の近くにある湖としては、小さくなくてもいまだに保存されているというのは、

奇跡だという人もいます。大きなまちの近くにある湖としては松江の宍道湖、大津の琵琶湖、水戸の千波湖の3つが中心市街地に隣接して残っている湖とされているようです。

千波湖はだんだん汚れがひどくなっていて、CODという水の汚染度を測る値が、平成24年度の資料で1リットルあたり18ミリグラムのリン等、アオコの発生源となるような物質が含まれています。ワースト1、2と言われている印旛沼や手賀沼で10ミリグラムぐらい、茨城県では北浦が8ミリグラムぐらいでワースト5ですので、千波湖はとびぬけて高くなっています。

千波湖は市民の憩いの場でありますし、文化都市、文教都市としましても、日本遺産に登録され、三名園の1つである偕楽園の眼下にある湖で知名度は非常にありますので、何とか水をきれいにしたいと思い、炭素繊維と鉄でリンを除去する実験やアオコを食べるバチルス菌を繁殖させる実験等、産学連携でやってきましたが、いずれにしましても千波湖に流れ込む水が少なく、水を新たに導入することが一番なのですが、それができない状況です。

千波湖は湖沼ではなく河川という区分ですのでワースト1にはなっていませんが、もし定点観測の場所であれば全国で一番汚い湖がすぐ近くにあるというのは我慢できませんので、千波湖の水をなんとかしなければならぬという市民運動になれば一番よいのですが、なかなかそうもいかないと思いますので、博物館で千波湖の変遷と同時に汚染について警鐘を鳴らす展示があってもよいのではないのでしょうか。

____委員長 事務局の方でもしっかりと心に刻んでいただき、同時にまた議会の方でもいろいろ考えていただいて、なお一層博物館にも目を向けていただければと思います。

皆さんから他になれば、事務局に進行をお返しします。

執行機関 長時間の協議ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして平成29年度第1回水戸市立博物館協議会を閉会とさせていただきます。本日は御多用のところ御出席いただき、誠にありがとうございました。